

主要行等の平成 27 年 9 月期決算の概要

1. 損益の状況（グループ連結ベース）

- 27 年 9 月期は、役務取引等利益が増加したものの、貸倒引当金戻入益の減少等により与信関係費用が増加したほか、経費が増加したことなどにより、結果として中間純利益は前年同期に比べ 4.6%の減少。

(単位：億円)

	25 年 9 月期	26 年 9 月期	27 年 9 月期	前年同期比
連結業務粗利益	51,752	53,320	55,569	2,249
資金利益	26,438	27,555	27,919	365
役務取引等利益	15,429	15,425	16,535	1,110
その他業務利益	4,186	5,194	4,967	▲ 228
うち債券等関係損益(※※)	1,234	2,289	1,939	▲ 350
経費	▲ 29,728	▲ 31,537	▲ 32,730	▲ 1,193
連結業務純益	22,112	21,844	22,422	578
与信関係費用(※)	1,590	2,500	▲ 693	▲ 3,193
株式等関係損益	1,642	1,462	1,895	433
うち株式等償却(※※)	▲ 335	▲ 88	▲ 375	▲ 287
中間純利益	17,081	16,826	16,051	▲ 775

※ 与信関係費用について、正の値は益を、負の値は損を表す。 ※※ 債券等関係損益、株式等償却については銀行単体ベース。

(参考)	25 年 9 月期	26 年 9 月期	27 年 9 月期
貸出金（末残）	263.9 兆円	277.7 兆円	292.5 兆円

(注) 貸出金は銀行単体ベースの銀行勘定計

2. 不良債権の状況（銀行単体ベース）

- 不良債権額は 27 年 3 月期に比べ減少、不良債権比率も低下。

(いずれも平成 11 年 3 月期の金融再生法に基づく開示以降で最低)

	26 年 9 月期	27 年 3 月期	27 年 9 月期
不良債権額	3.5 兆円	3.5 兆円	3.1 兆円
不良債権比率	1.14%	1.10%	0.98%

3. 自己資本比率の状況（グループ連結ベース）

- 国際統一基準行の総自己資本比率、普通株式等 Tier1 比率は、27 年 3 月期に比べ上昇。
- 国内基準行の自己資本比率は、公的資金の返済を進めたことに伴い、27 年 3 月期に比べ低下。

(国際統一基準行：4 グループ)

(国内基準行：3 グループ)

	27 年 3 月期	27 年 9 月期		27 年 3 月期	27 年 9 月期
総自己資本比率	15.63%	16.13%	自己資本比率	13.95%	13.54%
Tier1 比率	12.33%	12.86%			
普通株式等 Tier1 比率	10.70%	11.01%			

(注) 記載金額・比率は、四捨五入して表示。